

令和5年度 第1回笠松町総合計画審議会 議事概要

日時	令和6年2月14日（水） 10:00 ~ 11:20
出席の委員	大成会長 岩井副会長 服部夏樹委員 山田委員 田村委員 安藤委員 田島委員 近藤委員 岡田委員 服部真也委員 高木委員（代理） 森社委員 森祐見子委員 久納委員 樋口委員 尾関委員 （以上16名）

欠席の委員	カラギョル委員 高島委員 （以上2名）
-------	---------------------

議事概要	
全般	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の見直し①（事務局案） 承認 16名 ・ 非承認 なし 基本計画の見直し②（事務局案） 承認 16名 ・ 非承認 なし まちづくり指標、令和5年度実施計画（事務局案） 承認 16名 ・ 非承認 なし

次第1 第6次総合計画基本計画の見直しについて①（昨年度の審議会での協議報告）

○英検3級の合格者数の割合は、全国平均で約27%であるが、笠松町のKPIの目標値は50%と高い。全国平均に即した形で目標設定した方がよいのではないかと。

⇒1年間かけて、これまでの英検の受検者数及び合格者数の実績を研究するとともに、令和7年度の間年度に指標項目の見直しを検討します。

○芭蕉踊り等のお祭りや、子ども会行事等、参加者の温度差が問題となっている。地域のつながりの再構築が必要ではないかと。

⇒町内会連合会へ、現状の子ども会の考えや課題等を共有しながら検討を進めていきます。

○SNSのみの情報発信でよいのか。

⇒定時放送の内容が、紙媒体の広報誌やSNSと重複している内容が多数あったため、行政情報に係る定時放送を取りやめとしました。緊急時には、これまで通り防災行政無線を活用し情報発信します。また、高齢者にも対応できるテキスト読み上げ機能の検討をしています。

○こども館の各種事業を魅力あるものとしていただくため、定期的に活動の見直しをお願いし、今後も広くPRしていただきたい。

⇒原課へフィードバックさせていただき、来年度の事業に役立てていきたいと思っております。

○子ども館利用者数について、年代別の参加者数が分からないと実態が見えてこないため、その把握をお願いしたい。

⇒その点も原課へ情報提供させていただきます。

○国際理解は英語だけではない。多言語・多文化を受け入れる教育も重要であるため、そのあたりも検討いただきたい。

⇒庁内で構成される推進本部会議において協議しておりまして、その結果を計画本体の方で追記させていただいております。

○上記の具体的な案はありますか。

⇒WEB会議システムを活用し、現地と画面を通じて交流できるような取組を検討しております。

次第2 第6次総合計画基本計画の見直しについて②

○窓口業務を解消できるようなアプリ開発を検討してはどうか。

⇒今年度若手職員で構成されたチームを立ち上げ、ノーコードツールを活用したアプリを10個ほど開発し、職員の業務改善を図る取組を進めております。窓口業務については、マイナンバーカードを活用し、申請書の情報を転記できるシステムの導入に加え、これまでは諸証明の発行を職員が行っておりましたが、今後はキヨスク端末でも発行できるよう、窓口の緩和を図る対策を進めていきたいと考えております。

○議会の方では、一般質問のみYouTubeで配信している。職員数は増えているわけではないため、DXを活用して業務を効率化していただきたい。

○SNSの情報発信の回数が多いため、計画的に配信したらどうか。一度精査いただきたい。

⇒1日の配信数や配信間隔、文字数の制限や画像を効果的に活用するなどの統一ルールを策定しましたので、改善が図られると思います。

○取得したい情報分野を選択できるようになるとよいのではないかと。

○Lineの有料版であれば取得したい分野を選択できる機能がついているため、検討してはどうか。

⇒取捨選択ができるため便利ではあるが、導入自治体の運用を参考にしたところ、その機能を有効的に活用しているか

どうか（費用対効果）の面で導入には至りませんでした。しばらくは、Line 発信側の運用ルールにて動向を見たいと思っております。

次第3 第6次総合計画の効果検証について

①指標番号 ②実施計画	いただいたご意見と町の対応
----------------	---------------

基本方向1 ぬくもりと笑顔あふれる思いやりのまち

①指標18	こども館に新設されたキッチンスペースの稼働率が低く有効活用されていないため、イベントを開くなどをして利用者を増加させるとよいと思う。 ⇒原課へ情報提供いたします。
-------	--

①指標19	ファミリー・サポート・センター会員数 最終目標値が120人となっていますが、人数が増えればいいものではないため、実態に即したものに目直しをしていただきたい。 ⇒精査させていただきます。
-------	--

②15頁	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利に関して、P.15の部分のみの記載であり、“学校”や“人権”の部分に記載されていない。もう少し大きな位置づけにしてはどうか。 ⇒大きな視点で、原課と学校と調整しながら検討を進めていきます。 子どもの権利条例に則り、子どもたちに関する方向・施策を子どもたちが分かる言葉で、笠松町から子どもたちへ発信して「知る」機会を提供してほしい。
------	--

基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち

①指標24 ②25頁	「国際交流活動の推進」に関するKPIの欄に「英検3級の合格者数の割合」に係る記載はないが、実施計画P.21に記載があるため、見直してほしい。 ⇒英検と国際交流活動の整合性について精査していきます。
---------------	---

①指標25 ②24頁	<ul style="list-style-type: none"> わくわく広場は、非常に良い取組であるのに、参加率が6%と低いのはもったいない。小学生でわくわく広場に参加した児童が、中学生になってわくわく広場のボランティアを行った生徒がどのくらいいるのか。そのつながりが大事であると思う。その視点で検証してみてもどうか。子どもが意欲的に活動できることを広げてみてはどうか。 ⇒わくわく広場は、実行委員会にて運営していますので、ご意見いただいた内容を情報提供いたします。 学校を通じて、車いすで生活している人や障がいを持っている方との交流活動を増やしてはどうか。 ⇒福祉関係は、社会福祉協議会さんや学校と連携しながら進めていきたいと考えております。
---------------	---

①指標25	わくわく広場の参加率は、予約の仕組みをシステム化すると申し込みやすくなり、参加者が増えるのではないかと思う。 ⇒わくわく広場実行委員会に情報提供いたします。
-------	---

①指標27	グアム派遣がなくなった今だからこそ、海外から日本を見るきっかけを作してほしい。児童生徒のタブレットを活用すれば、現地との交流が実現できるため、ぜひ児童生徒には、生の英語が聞けるような機会を作ってもらえるとよい。 ⇒羽島郡二町教育委員会と、町独自の学習が展開できないか協議してまいります。
-------	--

基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち

②42頁	「施策の方針の現状・課題」の3行目「夏には～花を咲かせる」という文章の修正をお願いしたい。 ⇒改めます。
------	---

基本方向4 便利で快適に暮らせるやすらぎのまち

意見なし

基本方向5 安全で安心して暮らせる住みよいまち

②66頁	223 災害時要援護者の把握について、“希望する方”と“必要とする方”には少しずれがあるのではないかと感じている。どのくらい必要とする方がいるかを把握することが大切であると思う。 ⇒現在は、個人情報の観点から、希望する方だけの把握となっております。しかし、今回の能登地震によって洗い出された課題であるかと思っておりますので、自主防災会や民生委員さんと協議しながら今後の方針等について検討していきたいと思っております。
------	---

—	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策の推進に関わり、男女共同参画の観点から、1つKPIを設定してはどうか。 <p>⇒女性の視点、避難所の運営で女性支援が必要というところを必要に感じておりまして、来年度女性団体さんから意見を聞きながら避難所運営に役立てるような政策を進めていく予定であります。その内容については、計画へ追記する方向で対応したいと考えております。</p>
---	--

基本方向6 「官」「民」協働で築き上げる持続可能なまち

意見なし

笠松町の対応

基本計画及びまちづくり指標の修正・変更について、上記の通り委員から具体的なご提案をいただいていることから、慎重な検討を行いながら、社会情勢等に合わせ柔軟な対応を行います。

第6次総合計画4年目である令和6年度の事業は、まちづくり指標の更なる達成率の向上を目指して施策を実施してまいります。

